

宇部市立第二人生高校男子校が 「第14回 健康寿命をのばそう！アワード （介護予防・高齢者生活支援分野）」 厚生労働省老健局長優良賞を受賞しました

この賞は、厚生労働省が介護予防・高齢者生活支援に資する優れた自助努力活動等を行っている企業・団体・自治体を表彰し、個人の主体的な介護予防・高齢者生活支援の取組につながる活動の奨励・普及を図ることを目的とされています。

本市では、重度疾患の発症率が高い、他者との交流が少ない傾向にある男性に対して早期のアプローチを実施し、趣味や生きがいの発見に繋げ社会参加を促すことにより健康寿命の延伸を図ることを目的とし、令和5年度より「宇部市立第二人生高校男子校」を開始しました。

この度の受賞において、多様な主体が連携し、高齢者の主体的な参加があり役割の創出に貢献している点が評価されました。

1 表彰内容

厚生労働省老健局長優良賞（自治体部門）

2 表彰式

令和7年11月26日（水）11時30分～12時15分

日経ホール（東京都千代田区大手町1丁目3-7 日経ビル 3階・4階）

1 事業概要

男性が好むような講座を複数設定し、学ぶことをコンセプトに学校の授業形式で展開する健康づくり・介護予防事業。

2 事業名・ロゴマーク



**宇部市立第二人生高校
男子校**

Daini Jinsei High School

ウェブ番号1021719

3 対象者

今から何か始めたい、楽しみを見つけない60歳以上の男性

4 参加実績

R5 1期生 16人 R6 2・3期生 29人 R7 4期生 20人

5 事業開始時期

令和5年11月から

6 背景

健康づくり及び介護予防事業を実施している庁内各課が、保有データや事業における気づきを共有。

- ・国、県、同規模自治体と比較し、介護認定率及びサービス利用率が高い。
- ・重度介護認定者（要介護3～5）では脳血管疾患保有者が多い。軽度の介護認定者（要支援1・2）では、重症化すると脳血管疾患を引き起こす可能性のある高血圧症保有者が多い。男性は女性より脳血管疾患の死亡率及び治療率が高い。
- ・第9期宇部市高齢者福祉計画の基礎資料とするために実施した介護予防・日常生活圏域ニーズ調査において、「趣味や生きがいを思いつかない」割合は30%（男性33.1%、女性27.8%）
「1週間で交流した人数は1人もいない」割合は7.1%（男性10.8%、女性4.3%）
- ・各課が実施している健康づくり及び介護予防事業において、男性の参加率が低い。

7 課題

男性をターゲットとして趣味や生きがい、役割を持ちながら健康管理を行う仕組みを作り、脳血管疾患や高血圧症の予防、社会参加の促進を図る介護予防事業を展開する。

8 目的

重度疾患の発症や他者との交流が少ない傾向にある男性に対して早期のアプローチを実施し、趣味や生きがいの発見に繋げ社会参加を促すことにより、健康寿命の延伸を図る。

9 成果

本事業をきっかけに興味を持ったことを新たに趣味として活動を始めた人、授業の内容を地域住民との交流の中で実践する人等が見られた。

（活動事例）

- ・家庭科で習った料理に目覚め、週1回ぐらい簡単な料理をするようになった。
- ・授業をきっかけにグラウンドゴルフの道具を揃えて始めた。
- ・切り絵の教室に入会した。
- ・市のイベントに自分で申し込んで参加するようになった。
- ・短時間の就労を始めた。